◆抗ウイルス塗布施工

長年培われた安心・安全の信頼性
信越化学の光触媒コーティング液

道内経済の早期正常化へ全力
株式会社クリーンコーポレーション

施設の隅々まで入念に塗布施工を行なうクリーンコーポレーションの作業スタッフ（7月17日、滝のカントリークラブで）

7月17日、札幌市南区の滝のカントリークラブでは、ほどなく開催される著名な女子プロゴルフ大会「大東建託いい部屋ネットレディス」を前に、かねてから徹底的に進めてきた新型コロナ感染防止対策の仕上げとなる作業が行なわれていた。

その取り組み、感染防止対策の柱だったのが、菌やウイルスが接触することで不活化する酸化チタン光触媒の塗布施工。ゴルフ場運営会社からの依頼を受け、作業を担ったのは総合ビル管理を中核に、ホテルサービスや高所の窓ガラス清掃など多岐にわたる事業を手がけるクリーンコーポレーション（本社札幌・久保政義社長）である。

まず特筆されるのが、同社が用いている光触媒コーティング液が信越化学工業（本社東京）製であるということ。この信越化学工業といえば、塩化ビニル樹脂や半導体シリコンなどで世界トップシェアを誇る製品を数多く持つ化学会社だ。

コロナ禍を受け、抗菌・抗ウイルス製品を手掛ける事業者が多く見られるようになったが、世界的企業である同社が、この分野において長年にわたる研究開発で培ってきた製品品質や各種検査データの信用・信頼性は抜きん出ていると言っていい。

同社の光触媒コーティング液の特長は、塗布面の外観を損なわない高い透明性、有機溶媒ゼロで臭気もなく、作業の安全性を重視した完全な水系、完全無機で構成され、長期にわたる効果持続に期待できる高強度膜と高密着性、高品質酸化チタンによる高い消臭効果や暗所での抗菌効果など、コーティング製品に要求される特性を数多く兼ね備えている。

そのような優れた資材を武器に、今回のコロナ禍を受けて同社がいち早く取り組んできた実績は多岐にわたる。

白老町の民族共生象徴空間ウポポイをはじめ学生会館や社員寮、リゾートホテルなどを運営する共立メンテナンスの各施設。大学では北海道科学大学、北海道教育大学、札幌大学、札幌国際大学。病院では札幌清田病院に北新病院。そして保育園・幼稚園や金融機関、さまざまな業態の民間企業など塗布施工の事例には枚挙に暇がない。

信越化学工業製の光触媒コーティング液

この中で、今回取材に協力してくれた滝のカントリークラブの事業会社・札幌カントリー倶楽部（本社札幌）では、昨年冬頃からクリーンコーポレーションに依頼し、同ゴルフ場のほか真駒内カントリークラブ、羊ヶ丘カントリークラブ全3クラブハウスで塗布施工を始めた。

「お客様の安心安全を第一に、率先して抗菌・抗ウイルス対策を推し進めていくには自分たちの力だけでは限界を感じておりました。そんな折にクリーンコーポレーションさんとご縁ができ、光触媒の塗布施工が非常に有効であると判断して導入を決めたしだいです。私たちの3つのゴルフ場でひとの手が触れる部分はほぼ全てコーティング塗布してもらいましたが、お客様はもとよりスタッフが安心して働けるようになったことも大きかった」（札幌カントリー倶楽部関係者）

塗布施工に先立ち、アルカリイオン水でしっかり事前清掃

現在、飲み会やライブイベントなどあらゆる娯楽に自粛が求められている中で、比較的密になりにくい屋外で楽しめるゴルフを始める若者が急増しているという。コロナ禍の副産物ということで業界関係者にとっては複雑かもしれないが、新規客層の創出は追い風。その好機を今後に活かしていくためにも光触媒塗布施工をはじめとするコロナ感染防止対策の充実は欠かせない手段と言える。

信越化学工業が定める手順と要領を遵守しているクリーンコーポレーションの光触媒塗布施工は、気配りのきいた丁寧な作業にも定評がある。そのひとつが他の業者が手を抜きがちな事前清掃。メンテナンスのプロがこれまでの経験を活かし、製品の持つ効果を最大限長続きさせるため、テーブルや棚などの塗布部分にコーティング液を塗布施工する前に、ホコリや目に見えない皮脂汚れなどを除去する手間を惜しまない。塗布部分についても依頼主の要望できめ細かく対応し、抗ウイルス効果を少しでも高めることを心がけている。

大会のパネルにも塗布施工を施す

この事業で同社は、収益より光触媒塗布施工を幅広く普及させていくことに何より重きを置いている。

「全幅の信頼の置ける製品を使ったコロナ対策を通して北海道の経済活動を1日でも早く正常化させたい、という当社としての強い思いがその原動力になっています」（同社・堀口建太郎取締役）

■株式会社クリーンコーポレーション
札幌市中央区南22条西6丁目2―25
エムズ南22条第3ビル4階
☎011・551・3250

北方ジャーナル2021年9月号掲載 ©Re Studio